

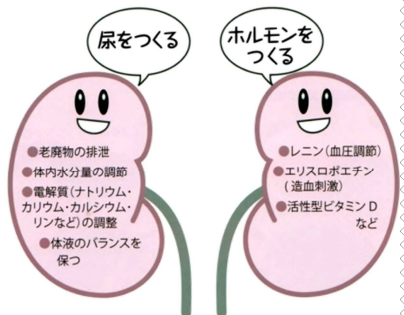
そら豆は 空に向かって 豆がなります。また 腎臓の形は そら豆に似ています。皆様の 気持ちも 上を向きますように...



そら豆

発刊:
済生会今治病院
透析センター
代表:
透析センター長
大本 昌樹
患者数:
230名 (10/21 現在)

特集



臨床工学技士長 芥川真二



血液透析は腎不全治療法として普及し、多くの方が治療を受けられています。しかし時間的拘束や食事制限など、負担を強いる欠点の多い治療法です。制約の中で皆さまは、多くの困難を乗り越え社会生活を営んでおられます。私たちは来院された皆さまが何事もなく帰宅され、日常生活が恙なく送れる事を、最大の目標と考えています。

体調管理や合併症予防は、長い期間での取り組みになります。患者様とスタッフの共同作業と言っても過言ではありません。一人ひとりに合った治療、サポートをするためにはお互いに、安心と信頼できる人間関係を築く事が必要です。この「そら豆」も皆様とのふれあいの一端となればと思っています。

ここ数年の先端技術の進歩は目をみはるものがあります。透析医療でも貧血は過去のものとなり、新しい医療材料や薬剤が開発され、治療環境や機器の安全性も向上しています。将来には再生医療の劇的な進歩も期待できます。私たち技術者は最新の技術と情報をお届けします。良く分からないこと、聞きなれない言葉などは是非お尋ねください。

災害に備える

今年には異常気象が続いています。台風や局地的な豪雨など、日本各地で被害が続出しました。透析センターでも災害対策については大きな命題として対策に取り組んでいます。安全に透析が受けられるよう、日頃から準備しておきましょう。



透析 試食会に参加して

日々透析治療にご理解・御協力ありがとうございます。給食試食会に、御家族のみなさんと参加してきました。思ったより量も多く味つけも工夫されており、おいしくいただきました。何よりご家族の方と食事しながらゆっくり語りあい、普段の様子をうかがう機会となりました。栄養士さんからの耳よりな情報もあります。まだ試食されていない方・もう一度参加したいと考えておられる方、何度でも参加可能です。ぜひ一緒に語りましょう。患者様・御家族とともに歩いていける透析室をめざして行きたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

看護師 主任 伊藤由美

2) 腎臓の働き

腎臓の最も大切な働きは、血液をろ過して尿をつくり、尿毒症の原因となる老廃物を体外に排泄する事です。もう一つは、体の環境を一定に整える「ホルモンをつくる」ことです。

- ◆ 血液中の老廃物の排泄
- ◆ 水分・塩分をコントロールする
- ◆ 電解質の調整
- ◆ (ナトリウム・カリウム・カルシウム・リンなど) 体液バランスを保つ
- ◆ 血圧を調整する
- ◆ 造血ホルモンをつくる
- ◆ ビタミンDをつくる

透析食の試食会



管理栄養士 室津香織

食事は健康状態を維持するうえで基本となるもので、生命を維持するうえで欠かせない重要な要素です。そして日々の食事は後々の栄養状態に、大きな影響を与えます。透析患者さんは、慢性腎不全に伴う代謝異常に加え、透析療法による複雑な代謝異常が複合的に関与して、栄養障害に陥りやすい状態になっております。また近年糖尿病の患者数の増加と長期化により、糖尿病腎症の進展から人工透析の導入が必要となった方も多く、血糖コントロールにも注意が必要となってきています。当院の透析センターでも栄養障害を問題として取り上げ、その改善に向けて取り組まれており、その一つとして透析食の試食会の提案を受け、その企画に参画出来たことを大変嬉しく思っております。

試食会では参加者の皆様から、日頃疑問に思っている事や困っている事など何でも気軽に話し頂けるように、楽しい雰囲気のレストランをイメージして企画致しました。参加費として、お食事代五百円を実費で頂いております。

食事療法は継続して行わなければ効果があまり期待できません。しかし継続実行することは大変困難であり強い意志が必要です。実際に調理するご家族からの積極的な協力は、その大きな支えとなります。

お申込みお問い合わせは、透析室のスタッフまでお願いいたします。予約状況により日程の調整を行っておりますので、ご希望に添えない場合もございますが、基本的には月一回のお申し込みが可能です。どうかお気軽にご参加ください。



腎臓リハビリテーション

透析治療を行うには、血液をきれいにするために、十分な血流量が必要です。普通の静脈では流れが少ないため、動脈と静脈を直接縫い合わせ、血管の通り道をつくり出します。これをシャントと呼びます。

最近ではシャントのことをバスキュラアクセスと呼ぶことが多くなりました(以下VA)。VAは、透析患者にとっての命綱です。VAがなければ血液透析を行う事はもちろん、患者の生命、生活の質を維持することも困難となります。VAを良い状態で保つことができるよう、異常の早期発見に努めています。

慢性腎臓病患者に対して、薬物療法に加えて、運動療法、教育、食事療法、精神的ケアなどを行う新たな**内部障害リハビリテーション**を行っています。

循環器 佐藤医師の研究結果でも「透析中のハンドグリップ施行は、透析シャント開存を有意に延長させた」という報告もあります。医師・看護師の指導のもと**透析中の運動療法を推進**しています。

期待される効果

- ・シャントの閉塞予防
- ・蛋白同化が促進され、透析除去効率が高まる
- ・改めて運動療法の時間の設定が不要
- ・体液貯留を改善した上で施行出来る為、安全性が高い
- ・監視下で行う事が可能

やってみよう！にぎにぎ運動！

- ・透析中、シャント肢でボールをゆっくり十回握る運動を三セット以上行なう。
- ・初回は看護師の監視のもとで行い、痛みの有無や穿刺部に影響はないか観察する。



ギュー…
ゆるめて…
ギュー…



作品・記事募集!

そら豆では 皆様からのご意見・作品など募集しております。透析センターラウンジの 専用箱に 投稿をお願いします。